

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-3-12	事務事業名 老人クラブ活動補助事業	所管部課 保健福祉部高齢福祉課
---------------	----------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 市内の老人クラブ及び老人クラブ連合会が行う活動に対して、事業費の一部を補助することにより、その円滑な執行を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)笑顔で暮らすまちづくり (施策)高齢者の生きがいづくりの充実 (主要施策)元気高齢者の生きがい推進
	実施内容、実施方法 単位老人クラブ288,000円・会員割1,200円×会員数。老人クラブ連合年額2,000,000円。	根拠法令等 西東京市老人クラブ等運営費補助金交付要綱
	事業開始時期 平成 14 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 単位老人クラブ数	活動指標の考え方(定義) 単位老人クラブのクラブ数
	成果指標名 老人クラブ会員数	成果指標の考え方(定義) 老人クラブの会員数の増

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		19,987	19,574	19,477	20,270	
	国庫支出金	千円					
	都支出金		9,192	9,004	9,000	9,384	
	地方債						
	その他						
	一般財源		10,795	10,570	10,477	10,886	
	所要人員(B)	人	0.40	0.40	0.40	0.40	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,298	3,309	3,331	3,331	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	23,285	22,883	22,808	23,601	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(単位老人クラブ数)	千円	475	477	475		
	歳入	千円	0	0	0	0	
	活動指標	目標値	クラブ				
		実績値	クラブ	49	48	48	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	人			3,200	3,200	
	実績値	人	3,229	3,125	3,044		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	老人クラブ = 高齢の老人というイメージで組織に加入したがない
	国・都・他市・民間等 における類似事業	23区・26市補助額の多少はあるものの全てで実施している
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 6-3-12	事務事業名 老人クラブ活動補助事業	所管部課 保健福祉部高齢福祉課
---------------	----------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	高齢者である老人クラブ会員が高齢者の一人世帯を訪問したり、地域の美化活動・会員同志の親睦をはかり、学習していくことは、極めて必要と思う。平成16年度実績では、全てのクラブで活発な活動が展開されていた。また、補助事業としては、高齢者であるが故の低所得者(年金生活者)であるため、各クラブの会費のみでは運営できないため妥当と考える。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	高齢者が結束し、地域の中でお互いに協力し生きがい活動を見出しているため、今後も続けていくべき。また、東京都の補助事業であるため、現時点では、市が係わらざるを得ない。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	老人クラブは、高齢者が自主的に仲間づくりをすすめ、それぞれの地域の実態に即して小地域ごとに組織づくりをし、高齢者が共同して相互に支え合い、楽しみを共にすることを基本としているため、止むを得ないと思う。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	同じ高齢者でありながら、老人クラブに加入者には、補助金が支給され、未加入高齢者は、恩恵にこうむっていない。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	実績で延べたとおり、高齢者の知識及び経験を生かし、生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を通じ、高齢期の生活をものとするともにいきいきとした高齢社会の実現に資するため継続して実施すべき。

17年度における改善点	高齢者社会のなかで老人クラブの加入年齢60歳は、まだまだ働く年齢であり、老人クラブへの加入が少ないため、若年高齢者の加入率を高める。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。